



○文化庁委託事業 平成30年度戦略的芸術文化創造推進事業
「障害者による優れた文化芸術を国内外に発信する総合推進事業」

2020障害者国際芸術祭プレ企画 国際研究フォーラム 北海道アール・ブリュット フォーラム2018 —文化芸術が創るまちの未来—

渡邊芳樹

元・在スウェーデン日本国特命全権大使、
元・社会保険庁長官

青柳正規

前文化庁長官、山梨県立美術館館長、
アール・ブリュットネットワーク会長

ジャン・マルク・エロー

フランス元首相、ナント市名誉市長、
2017ジャパン×ナントプロジェクト スーパーバイザー

コーディネーター

野澤和弘

毎日新聞社 論説委員

日時

2018年10月7日(日)
10:00(開演) 9:30(開場)

会場

北海道教育大学岩見沢校
i-HALL(アイホール)
北海道岩見沢市緑が丘2丁目34

入場

無料※要予約
予約方法は裏面をご確認ください

【主催】文化庁、障害者の文化芸術国際交流事業実行委員会、岩見沢市、北海道アール・ブリュットネットワーク協議会
【協力】北海道教育大学岩見沢校





瑞宝太鼓



レ・マシーン・ド・リル



オープニングレセプション



湖南ダンスワークショップ

フランス・ナント —文化芸術で都市を再生—

フランス北西部に位置するナント市は、かつては国内最大の造船業の街として繁栄しましたが、70年代以降は産業が衰退し都市全体が輝きを失ってしまいました。しかし、いまではフランス国民が選ぶ「最も住みやすい街」の上位に選ばれるなど、人々から愛される魅力的な街となっています。以前の輝きを文化によって取り戻すことを公約に1989年に市長となったのが、「2017ジャパン×ナント プロジェクト」のスーパーバイザーを務めたジャン・マルク・エロー氏です。フランス最大級のクラシック音楽の祭典「ラ・フォル・ジュルネ」の開催や、ピスケット工場を文化施設「リユー・ユニック」にリノベーションするなど、いくつものプロジェクトを次々に実施し、ナント市は世界有数の文化芸術創造都市として注目されています。

北海道

アール・ブリュットフォーラム2018 —文化芸術が創るまちの未来—

本講演会では、ジャン・マルク・エロー氏の大規模な都市再生により世界的な文化芸術創造都市となったフランス・ナントを事例として、文化と芸術によるまちづくりのあり方を考察します。渡邊氏には、プレレクチャーとして「2017ジャパン×ナント プロジェクト」の概要、ナント市がいかんにして文化芸術でまちを再生したのかをお話いただきます。エロー氏には、障害のある人の文化芸術国際交流事業として日本の多種多様な文化を世界に発信した「2017ジャパン×ナント プロジェクト」がナント市民に与えたインパクトや成果をご紹介いただくとともに、パリ東京文化タンデム2018の一環として9月8日から開催している「アール・ブリュット ジャポネⅡ」展についてもお話させていただきます。また、青柳正規氏との対談により2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向け、世界へ発信する日本のアール・ブリュットの可能性を探ります。



青柳正規(あおやぎ まさのり)

1944年生まれ。古代ギリシャ・ローマ美術史研究の第一人者として、30年以上にわたり、地中海各地の遺跡を発掘調査。1967年東京大学文学部卒業後、ローマ大学に留学。古代ローマ美術史、考古学を学ぶ。東京大学副学長、国立西洋美術館館長を経て、2013年7月～2016年3月文化庁長官を務める。東京大学名誉教授。日本学士院会員。2017年から山梨県立美術館館長を務める。



ジャン・マルク・エロー

1950年フランス、モレヴリエ(メヌ・エ・ロワール県)生まれ。若く39歳で、文化芸術、公共交通、都市緑化を公約に掲げ、ナント市長に初当選。23年間の市長在任中、文化事業を核とした都市再生に取り組んだ。市民は街への誇りを取り戻し、フランス国内で住みたい街の上位に選ばれる都市となり人口増加を続けている。「2017ジャパン×ナントプロジェクト」では、スーパーバイザーとして、プロジェクトを成功へと導く。



野澤和弘(のざわ かずひろ)

1983年毎日新聞社入社。津支局、中部報道局(名古屋)、東京社会部、夕刊編集部を経て現職。社会部でいじめ、ひきこもり、薬害エイズ、児童虐待、障害者虐待などを担当。主な著書に「障害者のリアル×東大生のリアル」「条例のある街」(ぶどう社)、「あの夜、君が泣いたわけ」(中央法規)、「廃墟の中の希望」「なぜ人は虐待するのか」(Sプランニング)、「わかりやすさの本質」(NHK出版)

ご予約・お問い合わせ

電話、FAX、Eメールにて『北海道アール・ブリュットフォーラム2018に参加希望』と明記の上、下記の事項をご連絡ください。

①氏名、②ご職業またはご所属、③連絡先(電話番号、FAX番号、メールアドレス)

北海道アール・ブリュットネットワーク協議会《事務局》社会福祉法人ゆうゆう

TEL 0133-22-2896 FAX 0133-23-0811 eMAIL yuyu.artbrut@gmail.com

〒061-0231 石狩郡当別町六軒町70-18



渡邊 芳樹(わたなべよしき)

元・在スウェーデン日本国特命全権大使
元・社会保険庁長官

1953年岩見沢市出身。岩見沢東高～東京大学卒。75年厚生省入省。老人保健医療対策本部事務局を経て、84年外務省在スウェーデン大使館書記官。87年大臣官房総務課長補佐として厚生省復帰。大臣官房広報室長、保険局保険課長など歴任。95年内閣官房内閣審議官、児童家庭局家庭福祉課長、保険局総務課長、大臣官房審議官、年金局長、社会保険庁長官等を経て、2010年在スウェーデン日本国特命全権大使。13年から日本生命顧問。日本赤十字社常任理事、社会福祉法人愛成会芸術文化事業担当顧問、そして北海道アール・ブリュットネットワーク顧問。18年から福祉フォーラムジャパン会長。1989年と2013年スウェーデン王国「北極星勲章」受勲。



パリ東京文化タンデム2018 「アール・ブリュット ジャポネⅡ」展

姉妹都市提携を結んでいるパリ市と東京都の事業である「パリ東京文化タンデム2018」の一環として、パリ市において開催されている日本のアール・ブリュット展です。障害の有無を超えた、幅広い分野から集められた作家52名による作品が展示されています。

【会期】2018年9月8日(土)～2019年3月10日(日)

【会場】HALLE SAINT PIERRE

(パリ市立アル・サン・ピエール美術館)

【主催】東京都、パリ市立アル・サン・ピエール美術館、社会福祉法人愛成会

北海道・岩見沢市

岩見沢市は、北海道の中西部に位置し、札幌まで約40kmの距離にあります。交通条件と自然環境に恵まれ、空知地方における行政・産業経済・教育文化などの中核を担う人口約82,000人の都市です。北海道でも有数の豪雪地帯で、平成23年には、一冬で11m以上の降雪を記録しました。市内には、芸術・音楽・スポーツに特化した北海道教育大学岩見沢校があり、相互協力協定を締結する岩見沢市と北海道教育大学岩見沢校が互いに協力しながら、誰もが芸術文化・スポーツを楽しめるまちを目指して取り組みを進めています。

北海道アール・ブリュット2016～2017 in 岩見沢



2016シンポジウム



2016ワークショップ「みんなでクリエイティブ」



2017ステージパフォーマンス



2017アール・ブリュット展